

平成21年11月17日

11月14日発生 特急スーパーとかち2号の車両不具合について

11月14日、7時15分頃 帯広 6時48分発 札幌行き 特急スーパーとかち2号（定員298名 乗車250名 6両編成）が根室線 十勝清水駅手前で車両不具合〔エンジン停止、発電機不良〕が発生しました。十勝清水駅にて車両点検を行った結果、処置に時間を要すると判断し、当該列車は十勝清水～札幌間を部分運休とし、ご乗車のお客様は後続の釧路 6時32分発 札幌行き 特急スーパーおおぞら2号にお乗り換えいただきました。

この件については、11月14日JR北海道釧路支社発表「車両不具合による列車への影響」にてすでにお知らせしておりますが、調査を行った結果、以下が判明しましたのでお知らせします。

調査の結果

特急スーパーとかち2号が帯広駅を発車後、柏林台（はくりんだい）～西帯広駅間を走行中、5号車の床下に設置されているエンジンの回転を発電機に伝える軸（長さ約40cm、直径最大約28cm、重さ約34kg）が2つに分かれて脱落していたことが判明しました。脱落部品がエンジンと衝突したことにより、エンジンが損傷し、停止するとともに、軸の脱落により発電機に動力が伝わらない状態になったことが判明しました。

原因

軸と発電機に動力を伝える装置の接合部のボルトが弛み、接合部の部品が摩耗し、脱落に至ったと思われませんが、詳細は調査中です。